

祝成人おめでとう

祝成人おめでとう



令和3年 和水町成人式

新成人の皆さん、おめでとうございます

1月4日、和水町三加和公民館で、令和3年和水町成人式を開催しました。式典中のマスク着用や座席間隔の確保、式典時間の短縮、入場者の制限、オンライン配信など、感染症対策を徹底し行いました。会場には、華やかな晴れ着姿の新成人61人（対象者78人）が集まり、久しぶりに会う友人たちとお互いの晴れ姿を写真に収める姿や、思い出話に花を咲かせている姿が見られ、笑顔が溢れるひとときとなりました。

式典では、高巢町長、岡本教育長、蒲池町議会議長から新成人者へ、温かいお祝いのメッセージが送られ、新成人者意見発表では、新成人を代表して、樋口あすかさん（浦谷）と尾形輝音さん（山十町）が、新成人としての決意やお世話になった人たちへの感謝、和水町への思いなどを発表しました。

大人の一步を踏み出した新成人の皆さんの今後益々のご活躍を期待しています。

◆ 樋口あすかさん

現在、生活をしている中で一番実感したことは、背負わなければならぬ責任の重さです。高校までの生活とは違い、すべて自分の意思でしなければなりません。つまり、その行動の責任はすべて自分にあるということです。しかも、その責任の結果が直接社会と結びついていることも増えてきました。そのことを実感したとき、同時に私は今まで多くの人に支えられて生きてきたのだなとひしひしと感じました。昨今では、新型コロナウイルスの影響により、今までの生活が大きく変わり、非常に慌ただしい状況にあります。おそらく、これからは数多くの予想だにしない出来事に見舞われることでしょう。その度に私たちは選択を迫られたり、責任を負ったりして悩み、苦労すると思います。ですが、それ乗り越えていくにあたって、きつとこの20年間で学んだ知識や経験が生かされていくことでしょう。そして、一人の大人として、これまで私たちが支えられてきたように、私たちが誰かを支えていかなければなりません。20歳という人生の大きな節目を迎えた現在、学校に通っている人や、すでに就職している人など、歩んでいる道は様々ですが、みな社会の一員として常に前向きに歩んでいくことを誓います。

◆ 尾形 輝音さん

現在、沖縄県で、給排水設備の仕事をしています。この仕事を始めてもうすぐ3年になるのですが、やはり思うことは、自分の好きなことをするということが一番ということです。私は、もともと大の勉強好きで、学生の頃は机が友達でした。その頭の良さを活かした仕事に就きたいと思っていましたが、全く逆の体を動かす仕事に、今は就いています。私が何を言いたいのかといいますと、どんな仕事に就いても、それを自分の好きなことにすれば、仕事が楽しくなるということです。皆さんも、一度きりの人生、自分のやりたいことに挑戦して、良い人生にしていきたいと思います。また、ここまで成長できたのも、両親や周りの方々の支えがあったからだと思います。私は、今までたくさん褒められながら成長してきました。人それぞれ違う育てられ方で育ってきたと思います。育て方は違っても、幸せになっただけという想いは、みな同じはずだと思います。今まで両親にもらったことを振り返り、今日は、普段は言えない「ありがとう」の気持ちを伝える日にしましょう。最後になりますが、和水町で生まれ育ったことを誇りに思い、友人との出会いに感謝し、これからも和水町を愛し続けることをここに誓います。

